

伏虎中学校区小中一貫校設置に係る住民説明会 会議録（概要）

1. 日 時 平成 26 年 5 月 13 日（火）午後 7 時～午後 9 時 10 分
 2. 場 所 和歌山市役所 1 4 階 大会議室
 3. 出席者 阿形局長、秋月教育総務部長、楠井学校教育部長、坂口生涯学習部長
教育政策課 新課長 上垣内副課長 川本適正規模配置推進班長
南事務主査 森元技術副主査 森本技術副主任
教育施設課 中村課長 清水副課長
学校教育課 林課長 中北副課長
教育研究所 西川所長 市川教育研究所専門教育監
教職員課 勝本課長 加藤副課長
保健給食管理課 守脇課長
青少年課 松村課長
文化振興課 前田文化財班長
- 参加者 7 3 名（男性 4 3 名 女性 3 0 名）
- 本町地区 1 6 名（男性 1 1 名 女性 5 名）
 - 雄湊地区 1 7 名（男性 5 名 女性 1 2 名）
 - 城北地区 3 2 名（男性 2 0 名 女性 1 2 名）
 - 報道機関等 8 名（男性 7 名 女性 1 名）

4. 内 容

- (1) 開会
- (2) 出席者紹介
- (3) 説明会
 - ア 小中一貫校設置工事について
 - イ 小中一貫校基本設計概要について
 - ウ 小中一貫校教育課程基本構想について
 - エ 小中一貫校小学校名・愛称募集について
 - オ その他（前回説明会(H25.6.25 開催)でのご意見等について）
- (4) 閉会

5. 説明会内容

ア 小中一貫校設置工事について

新校舎の建設工事は来年 8 月から 28 年度末までの 1 年 8 ヶ月程度を予定しています。平成 29 年 4 月に小中一貫校が開校しますが、4 月以降も引き続き、南校舎の解体工事及び最終のグラウンド整備を実施します。また、埋蔵文化財の発掘調査は新校舎が建つ場所全てが対象となり、発掘調査終了は平成 27 年 9 月末を予定しています。

次に、今年度実施する 26 年度工事の詳細についてですが、工事期間は平成 26 年 6 月 10

日から平成 27 年 2 月 10 日までの 8 か月を予定しています。工事内容は、南校舎改修、北西校舎解体、給食室改修、南グラウンド整備を行います。城北小学校の授業は、2 学期から、引越しが完了した南校舎のみで行います。その後、北西校舎の解体工事を 9 月から 1 2 月の 2 学期の間で実施する予定です。また、南グラウンド整備は、夏休みから南側の元公園内の施設の大部分を撤去する予定です。

イ 小中一貫校基本設計概要について

校舎等の配置計画は、旧城北小学校用地に新校舎を建設し、旧城北公園用地をグラウンドとして整備します。正門は新校舎東側に設置します。城北小学校で使用している体育館とプールはそのまま使用する予定です。また、地下駐車場の出入口は、グラウンド北西側の出入口は撤去し給気塔を新設します。利用者出入口は 3 ヶ所になります。

新校舎は、玄関を曲線的に描き、新設小中一貫校のシンボルとなるような外観に設計しています。新設校舎は、一部 5 階建てで、西側棟 3 階部分に体育館を配置しています。1 階は玄関ホールを校舎の南東角に設け、全児童生徒がこの玄関から入ることになります。

職員室は運動場を見渡せる場所に設置し、小中学校の全教職員が入る大きさを確保し、小中教員が連携・協働して児童生徒を見守る体制を整えています。また、校舎の中心の中庭に面した 1 階 2 階部分に図書室を配置し、吹き抜け空間を設けることで開放的な空間としています。西側には、伏虎中学校区の 4 校の歴史・軌跡を身近に触れることができるメモリアルホールを併設した、120 人程度が利用できるランチルームを設けています。また、若竹学級も 2 学級設置します。

2 階以上の教室配置図は、ゾーニング計画として、南側に小学生、東側に中学生を配置し、小学校エリアと中学校エリアを適度に分離しながら、その間に教師ステーションやホール・テラスを置くことにより、必要に応じて交流が図れるように計画しています。特別教室は教科の繋がりを考慮し、北側に集約して配置し、小学生エリアと中学生エリアの各々メイン階段を通り、動線が交錯することなく移動できるよう計画しています。

また、屋内運動場、体育館は北西棟 3 階に設置し、災害時の避難所として使用することを想定した計画とし、屋外階段から直接 3 階に入れるよう計画しています。

ウ 小中一貫校教育課程基本構想について

小中一貫校では義務教育 9 年間の発達段階を踏まえた一貫性のある教育活動が可能となります。9 年間を通した学びを創造し、子供たちが教師が保護者地域の方々が誇り愛着をもって夢がいっぱい輝く学校づくりを目指したいと考えています。

教育課程基本構想として、生きる力を子供たちに身につけさせるために、3 つの柱を中心に考えました。これは現在の学習指導要領に示されています確かな学力、豊かな心、健やかな体の 3 つの柱です。

また、特色ある教育活動として、郷土を学ぶ「わかやま学（仮称）」を設定し、和歌山の人・もの・ことを学習対象とし、よりよく問題を解決する資質や能力を育成します。問題解決的な学習を通して、仲間や学習対象と関わりながら学びを深め、学びの充足感を持た

せたいと考えています。伏虎中学校区は、昔から非常に歴史の深いまちでいろいろな文化遺跡が残っています。和歌山市のすばらしさ、自分たちの住む地域のすばらしさ、これを小学校1年生から計画的に学び、愛着をもった子供に育つように指導してまいります。

また、一貫した特別支援教育の推進や生徒指導・進路指導の推進に取り組みます。小中の全教職員が日々協働・協力しながら活動し、子供たち個々に応じた適切な指導や必要な支援を9年間にわたり継続的に行います。

次に、学習活動を支える教育環境として、日常的に、教員と児童生徒、また教員同士が交流できるよう、2階から4階にそれぞれ教師ステーションや「うちどくコーナー」を設けます。また、学校図書館を校舎のほぼ中央に配し学びの核にするとともに、良質な学校図書配備・ネット環境の充実により、子どもの探究活動を支えます。多目的ホール等共同で活動できる場を確保し、多様な学習形態を取り入れ、学習の幅を広げ、学習姿勢の確立を目指します。また、2つの体育館・武道場を効果的に活用し、子どもの健やかな体づくり・体力向上を支えます。ランチルームを充実し、地域の方との交流や、異学年間での交流を進め、食を通して、豊かな社会性を養います。

エ 小中一貫校小学校名・愛称募集について

新設される小中一貫校について、統合する「小学校名」と小中学校を一つで表す「愛称」を募集します。

応募方法は、記名式で1人1点の応募とし、持参・郵送・FAX・メールによる応募とします。持参については、伏虎中学校区の4校及び教育委員会教育政策課と考えています。募集期間は、6月2日（月）から6月30日（月）の1か月間としています。応募対象者としまして、伏虎中学校区関係者とし、現在の各学校の在校生とその保護者、教職員と卒業生及び地区にお住まいの皆さんとしています。選定方法については、応募数が多い名前を決定とするものではなく、あくまで学校名・愛称案をいただくものと考えています。校名案については、教育委員会事務局で集約し、協議させていただき、教育委員会定例会で最終的な校名案・愛称案を決定します。その後、議会の議決を経て、和歌山市立学校条例により規定されます。

応募用紙について、上側に新しく統合される小学校名案とその理由を、下側に小中学校を1つで表す愛称案とその理由をそれぞれ一つずつ記入します。一番下に、応募者の氏名等の情報を記入して、それぞれの方法で応募していただくことになります。

オ その他（前回説明会〔H25.6.25〕でのご意見等について）

前回平成25年6月25日に開催されました説明会でのご意見・ご質問についての回答。

Q1. 教育課程の考え方について。

A1. ウ 小中一貫校教育課程基本構想の説明となります。

Q 2. 学校名、校章、校歌、制服の決定方法、時期は。

A 2. 学校名は、小学校名、愛称について募集を行います。また、校章、校歌、制服は、その学校名が決定した後、その学校名にふさわしい校章、校歌を検討します。制服については、小学校から導入するメリットについては、小中一貫校として帰属意識が高まり一体感がありますが、経済的な負担が大きくなり、成長に伴って買い替えが必要となりますので、総合的に考えながら、検討してまいります。

Q 3. 学校区について、学校区が広がるが、通学路はどうなるのか。

A 3. 現在の城北小学校から本町小学校、雄湊小学校の一番遠いところまで、直線でおよそ2.1kmの距離になります。当然遠くなる児童がいますので、隣接の学校区の状況も考慮しながら、複合学区の設定等、今後検討してまいります。また、新しくできる小中一貫校は、徒歩通学と考えています。

Q 4. 説明会の概要について示してほしい。

A 4. 和歌山市教育委員会ホームページ内の「和歌山市立学校適正規模化」に説明会の概要を掲載しています。本日の説明会概要についても、後日掲載します。

Q 5. 統合後の学校跡地の利活用について。

A 5. 学校跡地の利用について教育委員会としては、本町小学校、雄湊小学校跡地は、教育関連施設として活用したいと考えています。現在和歌山市として、伏虎中学校跡地を含め、市役所周辺の公共施設の再整備の検討を進めています。市全体の再整備となりますので、今後新市長のもと再整備方針が示されることとなります。

Q 6. 小中一貫教育の魅力・期待されるものは。

A 6. 小中一貫教育は小中学校間の連携を深め、9年間の円滑な接続・連続性を実現する教育活動です。教育課程基本構想でも説明させていただきましたが、学力の向上や中一ギャップの解消、また、個性の伸長と豊かな人間性・社会性を育むことが出来ると期待しています。また課題としては、小中学校が一緒になりますので、先生の打合せ等、時間の確保について検討する必要があると考えています。今回、職員室は一つの大きな職員室となりますので、打ち合わせの時間等、効果的に運用できるよう、解決を図っていきたいと考えています。

今回の説明会での参加者からのご意見等（ご質問、ご意見及び教育委員会の考え方等については、趣旨を損なわないように要約しています。）

- ◆小学校グラウンドを有効活用するために、地下駐車場の廃止を今後検討して欲しい。
〔城北地区〕

⇒教育委員会だけで検討できるものでないため、今後関係部局と協議・検討してまいります。

◆城北公園が廃止され、地域住民の憩いの場所が無くなった。グラウンド南側に地域住民のための歩道を確保して欲しい。また、桜の木も切らないで欲しい。

公園内の歩道がなくなる事を初めて知った。地域住民の中に、知らない者もいる。これまでの説明が不十分ではないか。〔城北地区〕

⇒教育委員会は、これまで十分協議を重ね手順を踏んで進めてまいりました。小中一貫校設置について、地域説明会を開催し、みなさんと意見交換しながら計画を進めております（9回：地域別説明会を含む）。また、城北公園廃止につきましても、県と協議を重ね、公園廃止のための住民説明会を開催して意見をお伺いし、和歌山市都市計画審議会において決定しております。

◆本町公園でボール遊びが出来ないなど、子どもの遊び場が少ない。増やして欲しい。（要望）〔本町地区〕

◆小中一貫校開校時のことを考え、在校生への配慮が必要。

⇒円滑に移行出来るよう、開校までに交流を深める等取り組んでまいります。

◆一貫校の教育構想を実現するためには、実践する先生方の心構えが大切である。

⇒教育方針が形骸化しないよう取り組んでまいります。

◆新校舎の緑化率はどうか。防犯灯・防犯カメラの設置はするのか。〔城北地区〕

⇒校舎配置のイメージ図には、詳細まで描かれていませんが、植栽・生垣等取り組んでまいります。また、防犯カメラは設置します。

◆1階平面図内の自動販売機は設置するのか。小学生がお金を持っていくことになる。〔本町地区〕

⇒現在、伏虎中学校ではパン販売があるため設置しています。そのために場所として確保していますが、設置については今後検討してまいります。

◆グラウンドに小学生用の遊具がありませんが、広くないので設置されないのですか。

⇒校舎配置のイメージ図には描かれていませんが、遊具は設置します。

◆小中一貫校を成功させるための、特色ある施設は。図書室は中庭に面していて騒がしくないのか。〔雄湊地区〕

⇒読書活動を積極的に取り組むため、校舎の中心に配置しています。読書や学習のための静かな環境が確保されるよう、騒音等は十分配慮します。また、各階に教師ス

テーションを配置し、児童生徒と教員が日常から関わりあえる環境を整え、学年を越えて交流が行えるよう考えています。

◆3階に体育館が設置されていますが、2階には配慮が必要な特別支援学級が配置されているが大丈夫か。〔城北地区〕

⇒地域の防災拠点の観点から、避難場所として体育館を3階に配置しています。下階への騒音・振動についても教育委員会内で十分協議・検討してまいりました。騒音・振動の影響が無い強度な構造となるよう設計しています。

◆これまでも、複合学区について検討するということが、いつ決定するのか。

〔雄湊地区〕

⇒通学区に関する協議会において調査審議し、教育委員会で最終決定します。時期については、もう少し時間を要します。

◆給食についてどうなるのか。〔本町地区〕

⇒現在、中学校給食はデリバリー制の給食となり、希望制で実施しています。小中一貫校については、現在、給食実施の方向性について検討しているところです。